

子育てを楽しもう

5月の行事

加茂野児童館

開館時間 9:00~12:00 13:00~17:00

休館日 日・祝日 ☆土曜日は、一日開いています

行事のある日でも児童クラブ室で遊べます

電話 28・8878

子育て相談 9:00~16:30(日・祝日以外)

<未就園児対象>

なかよしデー

8日(火)・17日(木)

午前11時~11時45分

絵本の読み聞かせ 随時

<小学生対象>

囲碁クラブ…毎週土曜日

午前9時~10時

児童館まつり

26日(土) 午前9時~午後零時30分

※手芸クラブ、ゲームで遊ぼう、ミニミニ劇場は児童館まつりでいきます

サンサンルーム

開館時間 9:00~16:30

休館日 日・祝日 電話 27・6555

子育て相談 9:00~16:30(平日のみ)

<おはなし広場>

毎週火曜日

毎月第3火曜日は、読み聞かせボランティアの人がお話をしてくれます。いつもとは一味違ったお話が聞けます。

<遊びの広場>

毎週金曜日

※いずれも、午前10時30分からサンサンルーム

<発育測定>

9日(水) 午前10時30分~11時30分

その他の子育てサロン会場

すくすくルーム(みのかも健康の森)

毎週月・火曜日

にこにこルーム(津田左右吉記念館)

毎週木・金曜日

※開館時間は、いずれも午前10時から午後3時まで

だん

端午の節句

第97話

五月といえば「こどもの日」。五月五日は「端午の節句」でもあります。端午の端は、はじめという意味で、端午は、月のはじめの午の日、午を五と読み替え、五と五が重なる縁起のいい日と結び付け、五月五日が「端午の節句」となったという説があります。端午の節句といえは何といつても「こいのぼり」。今から三十年ほど前、長男が生まれてから初めて迎える端午の節句(初節句)の祝いに、家内の実家から「こいのぼり」や「のぼり旗」が届けられました。また、親せきからも大きな「こいのぼり」や五色の「吹き流し」などを頂き、庭先に十メートル以上もあるモウソウ竹を立て、それらを空高く揚げて息子の誕生を祝うと同時に、たくましく育ってほしいと心から願ったものでした。当時は、男子が生まれると小学校に入学するまで毎年こいのぼりが立てられ、あちらこちらで「真鯉」や「緋鯉」が青空に泳いでいました。「ああ、この家にも男の子が誕生したんだなあ。」と！

しかし、五月の青空をにぎやかにしていた色とりどりのこいのぼりも最近ではあまり見掛けなくなりまし

た。それに変わってよろいかぶと、太刀、破魔矢などの内飾り、そして武者人形や金太郎といった五月人形が飾られることが多くなりました。これも、武士のように強くなつてほしいという親の願いは同じであります。そして、家の屋根の軒先にはシヨウブとヨモギの葉を刺して魔除けをし、シヨウブの葉をお風呂に浮かべて入ると丈夫に育つといわれて、五月五日には必ず実行していました。もう一つ端午の節句といえは、「ちまき」と「かしわもち」を忘れてはなりません。この日に、ちまきを食べる風習は、中国の伝説に由来するものです。これに対してかしわもちには日本独特のもので、カシワの葉は、新芽が育つまで古い葉が落ちないことから、跡継ぎが途絶えないようにと願ってかしわもちを作ってお供えをしたようです。こつしたさまさまな行事や風習は、現在も形だけは残っているものの、これら一つ一つの意味が分からなくなつてきていますが、伝統として後世に受け継いでいきたいものです。

(文責 渡辺和)

